

## 平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

### 1. 学校概要

学校名 金沢市立伏見台小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  中高一貫教育  高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

所在地 〒921-8151  
石川県金沢市窪5丁目335

E-mail fushimidai-e@kanazawa-city.ed.jp

Website http://cms.kanazawa-city.ed.jp/fushimidai-e/

児童生徒数 男子 338名 女子 322名 合計 660名  
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

## 金沢市立伏見台小学校

[はじめに]

本校は、金沢市の南部の郊外にあり、昭和49年4月に開校した。全校児童は660名、教職員は42名である。

校区の東端には竹林を含む小高い山があり、サケが遡上する伏見川を始め、他の川や用水も流れている。北部や西部には幹線道路沿いに商業地域が広がり、近年、校区内を大きな道路も通り、自然環境は少しずつ変化している。しかし、田畑もまだ残されており、地域を素材とする学習環境には恵まれている。

23年度、ユネスコスクールの認定を受け、環境や伝統・文化、福祉、国際理解を主

### 世界伏見発見！ ～関わろう、地域と人と自然と～

#### 1 ユネスコスクールとしての取組

##### 1年生 「自然となかよし」

生活科を中心に、校地や校区内の自然を観察し、自然のものを使った遊びや創作活動を通して、身近な自然に対して関心をもつことができた。年間を通して同じ公園に行ったことで、四季の変化に気づくことができ、自然についての自分の思いを表現できた。春には、オオバコ相撲や指輪作りなどをして遊ぶことができた。夏には、成長した植物や生き物を観察し、秋には、木の実や落ち葉を使った遊びを楽しんだ。「年長さんを迎える会」で年長児を招待してその遊びを教え、一緒に楽しく交流した。冬には、寒くて凍った裏庭や校庭の様子を探検し、楽しかったことを絵や文で表現した。また、旗源平を名人さんに教えてもらい楽しんだ。2月の授業参観では、この一年でできるようになったことを保護者に向けて発表した。



##### 2年生 「町をたんけん 大はっけん」

生活科で自分たちの住む町を探検した。校区の自然に親しみ、地域の人と関わることができた。

まず、児童は校区内のお気に入りの場所を友だちに紹介し、特に探検したい場所を学年全員で考えた。次に、探検したい場所が同じ友だちとグループを作り、探検計画を立て、探検のめあてや内容を決め、探検先への道順を確かめた。指導者は、探検先の商店や保護者に協力を依頼した。探検後、児童はグループで気付きなどを話し合い、大きな新聞や紙芝居、クイズなどの形式でまとめた。その後、学年全体で発表会を開き、他の場所を探検したグループの気付きや考えを聞き合った。最後に、児童は授業参観で保護者に自分たちの学んだことを伝える中で、地域には商店や住宅以外に公共施設があることにも気付き、その役割について考えることができた。また、地域に対する親しみや愛着を、より一層感じることもできた。



##### 3年生 「わくわく竹探検隊」「和菓子学ぶ」

総合的な学習の時間を中心に、校区の竹林を生かした活動を体験した。また、社会科「工場の仕事」で学習したこととつなげて、職人さんとの和菓子作り体験を通し、和菓子についても学習を深めた。

春には、地域の名産である筍を掘る体験をした。その際竹林の手入れなどいろいろなお世話があることを教わった。その後、筍の栄養について栄養教諭か



ら学んだ。夏には、笹竹を取りに行き、七夕飾りを作ったり、七夕の行事について調べたりした。秋には、竹を使った遊び・竹細工・竹の育ち方・筍料理などについて調べてまとめ、授業参観で発表会を開いた。地域の自然を生かしてきた知恵や工夫などについて、それぞれのグループが調べて考えたことを伝えることができた。冬には、竹箸作り名人の方々をお招きして、自分用と6年生へのプレゼント用の竹箸を作り、竹の良さを改めて実感していた。

和菓子で有名な金沢では、人々の思いや願いが和菓子に込められている。和菓子職人さんに和菓子作りを習うことで、和菓子作りの難しさと楽しさ、情緒豊かな生活風習の良さを味わい、職人さんの思いや願いも知ることができた。お茶会で、自作の和菓子を味わうこともできた。

#### 4年生 「心のドアをノックして ～人との関わりを考えよう～」

総合的な学習の時間を中心に、高齢者や体の不自由な方との交流を通して人との関わり方について学習した。地域包括支援センターで各クラス年2回交流を行い、交流を深めた。また、高齢者の日常生活を理解するために高齢者疑似体験・認知症サポーター養成講座を受講し、体が不自由な方も健康者と同じように生活していることを学んだ。地域にはいろいろな人がいて自分たちにできることや人と関わる時に大切なことを学ぶことができた。それらをまとめ授業参観で保護者や地域の方々に伝えた。



#### 5年生 「マイリバー伏見川」

総合的な学習の時間を中心に、近くを流れる伏見川について学習した。自分たちの生活や生物にとって大切な川であり、その伏見川を守っていきたいという想いを強く持って活動を進めていった。水生生物を観察し、実際に伏見川の水質を調べたり、過去の伏見川の水質と比べたりすることで、なぜ昔は汚れていたのか、どのようにしてきれいになってきたのかという疑問を解決していく学習となった。その中で、下水処理にたずさわる方から話を聞いたり、今までの学習を保護者の方に発表したりする活動を行った。



#### 6年生 「世界と手をつなごう」

総合的な学習の時間を中心に、国際交流や調べ学習を行い、世界の国々の文化や現状、金沢や日本の歴史と伝統について学んだ。これらの活動によって国際社会の一員として自分たちができていることを考えた。まず、国際交流員や留学生との交流会を行った。外国の遊びやじゃんけんを一緒に行ったり、その国の紹介をしてもらったりした。児童はそれぞれの国のあいさつや文化などについて調べた。次に、金沢探訪を行い、日本（金沢）の文化（景観、食文化、伝統工芸、伝統文化）を見学し、金沢の良さを紹介するパンフレット作りをした。また、年間を通して、世界の現状（紛争・食糧問題）を知ることによって自分たちがしなければならないことについて考えた。最後に、これまでの学習で分かったことやこれからの日本について考えたことを保護者に向けて発表した。



#### その他の取り組み

児童会活動として、金沢「絆」活動における「金沢子どもかがやき宣言」に基づく活動としての「花いっぱい運動」や「あいさつ運動」、さらに、「植物検定」「伏見台ボランティアの日（リサイクル活動）」「エコキャップクイズラリー」「ごみ拾い（地域・学校）」「保検定」「健康カルタ大会」「松葉拾い」などを行った。その他には、植物の水やり「雨水タンク」を全校で利用しており、「書き損じハガキ募集」や「ツバメ調査」も毎年行っている。



## 2 成果と課題

本校では、金沢市学校教育振興基本計画に則り、「地域の人や地域で働く人、外国の人との交流や自然を通して、自分達の地域の良さを知り、様々な人や自然への理解を深め、共存できる持続可能な社会の発展」について考え、実践している。低・中・高学年で身に付けたい力を明確にし、身近な素材から様々な文化との交流が実践できるテーマを各学年に設け、アクティブラーニングを重視した活動を行ってきた。地域の自然、人、そして世界へと学年を追うごとに関わる対象が広がり、より良い社会にしていきたいという想いは、学年に応じて付いてきている。どの学年においても、普段では得難い多くのことを様々な人との交流や自然から学ぶことができ、人や自然と関わることのすばらしさに気付くことができた。また、学習で得たこと

や、自分の思いを保護者や地域の人などに発信し、他の人の考えを聞くことで、今後の在り方を考えることもできてきている。

課題としては、交流相手との打ち合わせの大変さ、年々変わってくる状況の中での交流の持続の難しさ、自然（動植物や天候）との関わりの難しさが挙げられ、カリキュラムの修正が必要な部分も出てきている。今後も、これまでの実践や現状、他校の実践を参考にし、より良いものに改善していきたい。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

)